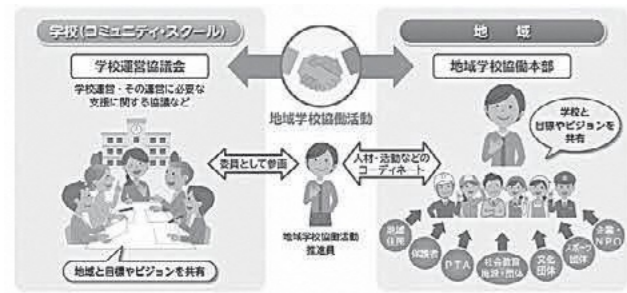




質問内容は議員が自由に決めることができます。各議員の「視点」と「考え」にご注目ください。

問 置き去り防止のために安全対策を行っているのか、送迎バスの安全装置の設置状況はど

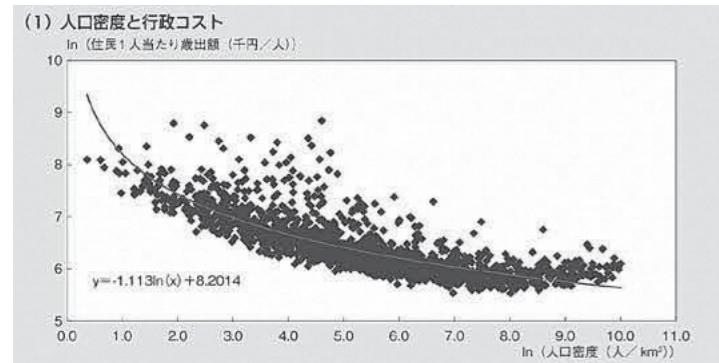
答 小池中学校区にある小池小学校の3校にて令和3年から取り組んでいる。地域やPTA、職員、有識者にて学校運営協議会を開催し、主に防災教育や地域の人材を生かした取り組みを行っている。3校の成果をまとめ、市内公立校へ取り組みを広げたいと考えている。



コミュニティ・スクールについての簡略図

問 創業するにも人が住むにも、現実の場所が必要である。創業する場所、居住する場所の創出に、これまで以上に踏み込んだ取り組みができないか。

答 今後のさらなる創業促進のためには金融機関、商工団体、不動産会社などと連携し、スムーズに一元的に情報収集できる体制を強化していく必要もある。そのため、ウェブ上でのワンストップ型のプラットフォームの設置などについても、今後研究していきたい。



燕市のDID(※)人口は40人/ha未満

(※) DID…「人口集中地区」(DID=Densely Inhabited Districtsの略称)と呼ばれ、「都市的地域」(特に人口密度の高い地域で、広い意味での市街地を指す)の規模等を知るための指標としている。

地域全体で子供たちを育てるために

問 コミュニティ・スクールについて、取り組みと導入を検討されているのか。今後の展望として、地域と学校がどのように関係性を築いていくのか。

答 運転者、添乗員の2名体制で運行し、登園時に名簿にて確認し、添乗員から車内確認しダブルチェックを実施している。送迎バスの安全装置の設置を行っているバスはないが、安全装置について補正予算を定例会最終日に提案したい。

うなっているのか。



齋藤和也 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 学校教育について
2 幼児教育について



小林由明 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 移住定住人口増と創業支援について



問 創業準備期から創業後の成長を支援する、ウェブ上のワンストップ型プラットフォームを開設できないか。

答 市と宅建業者が共に協力し、散在する空き家等の解消と創業や移住場所の整備に向けて、空き家跡地活用促進事業を普及させるとともに、まちなか居住の様々な施策により、人口密度の維持を目指したいと考えている。



気軽に相談を、女性のための窓口

問 困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行されるが、現在市ではそのような困難な問題を抱える女性への支援に関して、どのような課題があると認識しているか。

答 困難な問題を抱える女性の中には相談することなく、悩みを抱え込み問題が顕在化しにくく、公的支援につなげにくい

問 困っている女性に対して物的支援をすることがだけではなく、必要に応じて適切な支援につなげることを目的としている。

答 困っている女性に対して物的支援をすることが重要であることから、保健室での受け渡しで対応していきたいと考えている。

問 生理用品無償配布事業の目的意識は、

答 生理用品無償配布事業を継続していく上での、目的意識は、

問 困っている女性に対して物的支援をすることがだけではなく、必要に応じて適切な支援につなげることを目的としている。

答 困っている女性に対して物的支援をすることが重要であることから、保健室での受け渡しで対応していきたいと考えている。

困難な問題を抱える女性への支援



高橋妙子 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 女性支援について



市長の政治姿勢について



藤井秀人 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 市長の政治姿勢について
2 10月23日市議会選挙について



問 市長の考える4期目の最重要課題と、解決のための取り組みについて伺う。

答 一つ目は、新型コロナウイルス禍からの早期回復。燕市独自の対策を講じることで、アフターコロナを見据えた取り組みも同時に進めていく。二つ目は、未来につながる新たな地方創生。長期的な視点に立って、持続可能なまちづくりを目指していくことを考えている。

問 投票率低下と投票所の問題点について

答 今回の投票率は46・94%で前回より8・52%下回り、過去5回の選挙の中で最も低い投票率となった。ベテラン議員の方々に代わり、多くの新人の方が立候補されたことから、投票行動に変化や迷いが生じたことも一因にあるのではないかと考えている。今後はより一層の情報発信や啓発活動に取り組んでいきたい。



バリアフリー化されている投票所

問 投票所における高齢者・障がい者に対するの整備と投票所の見直しの考えはあるのか。

答 投票所39か所中、バリアフリー化は24か所。靴を脱がずに入れる投票所は6か所のみ。投票しやすい環境づくりに努めていきたい。

マークがついた囲み内の文章は、議員による質問の背景や説明をまとめたものです。





路線再編を検討中のスワロー号

問 スワロー号のバス停に関する市民アンケートや、市場移転に伴うバス停の新設の提言はその後どのように検討したのか。

答 西部卸売市場の移転、令和5年度末の県央基幹病院の開業を予定しているなど、市内外の環境変化に伴う公共交通網の見直しが必要ではないか。また交通弱者に対する行政サービスが近々の課題と思うが…

公共交通網の路線再編をどうする？



たざわのぶきさ 田澤信行 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 公共交通網のビジョンについて



答 きららん号の拡充を図りたいと考えているが、あらゆる選択肢を検討するため一定の財源を新しい交付金をうまく取り入れながらできることを議論しており、少しでも現状よりも利便性が高まることを検討していく。

問 交通弱者（免許返納者や高齢者・妊産婦など）の交通手段の確保は、当事者の生活にとって死活問題であり、タクシーチケットの配布などあらゆる行政サービスを検討する必要があるのではないか。

答 アンケート結果は、貴重な御意見として県央基幹病院の開院に合わせたスワロー号の路線再編に向けての検討材料としている。また、西部卸売市場については、7月の市場オープン予定に合わせ市場関係者とバス停を設置する方向で調整しているが、最終的には燕・弥彦公共交通会議で判断する。



便利なおでかけきららん号を利用しやすく！

問 以前は広範囲の地域循環バスが走っていたが、運行時間がかかり、利用者が少なかった地域は、おでかけきららん号の利用をお願いしている。

答 以前は広範囲の地域循環バスが走っていたが、運行時間がかかり、利用者が少なかった地域は、おでかけきららん号の利用をお願いしている。

「どうする？」循環バスが来ない地域



こんどうたかひさ 近藤隆行 (公明党)

この項目について質問しました
1 高齢者、障がい者等の社会的弱者の交通手段について
2 人口増加への戦略について



答 様々な若者応援事業を実施しているが、この支援も必要か今後研究していく。実施企業の把握はしていないので、企業にもこの制度の活用を推進していく。

問 若者のU・I・Jターンを促進し、企業の若い人材の確保が期待される奨学金返還支援制度があるが、市はどのように考えているか。また企業も活用ができるが、実施企業の把握、推進はしているか。

答 増車は運営事業と協議しているが、本業の圧迫や運転手の確保が難しい状況である。AIの活用は今後研究していく。

問 おでかけきららん号を利用しやすくするため、増車や近年導入されたAIを活用した配車システムを検討してほしい。

答 増車は運営事業と協議しているが、本業の圧迫や運転手の確保が難しい状況である。AIの活用は今後研究していく。



つちだのぼる 土田昇 (日本共産党議員団)

この項目について質問しました
1 マイナンバーカード利用拡大の問題点について
2 教育関係について



教育問題と市の実態と対応について

問 全国では、令和3年度に30日以上欠席した不登校の児童生徒数は24万4940人と報道されたが、市の実態と対応について伺う。

答 市では、令和3年度に年間30日以上欠席がある児童生徒数は小学校では32人、中学校では65人となっている。新潟県では増加しているが、不登校、長期欠席を減らすためのガイドラインに基づいて、不登校だけでなく、不登校傾向の児童生徒一人一人に寄り添って丁寧に対応している。

問 令和3年度の文科省の調査でいじめについては全国で約61万5000件と報道されているが、市の実態とその対応について伺う。

答 教師の労働時間が長いと指摘されている。教師の増員が強く求められると思うが、教長の認識について伺う。



引き続き一人一人に寄り添った対応を

答 指摘のとおりだと思う。教員を増員することが最善の方策であると考えます。

市民活動の負担軽減のための支援

問 市民活動の負担軽減のために、イキイキまちづくり事業助成金の助成率や金額を再検討できないか。

答 支援しやすくするために申請回数を増やす努力をすることともに、チャレンジ事業の補助金額については調査の上、今後検討していく。



市民の方々の思いや頑張りに応える支援を

企業の新規事業支援とDX化について

問 企業がコロナ禍から業態変化の際に使える、新規事業のための補助金の新設と申請のDX化を提案する。

答 商品開発と販路開拓の補助金を組み合わせることで、一体的に支援する。併せて、来年度から補助金申請のデジタル化を実現する。

官民協働で燕市をPRする仕組みの提案

問 企業と連携した市のPRとして、市内企業のサイトに市のリンクやバナーを貼る取り組みを提案する。

答 全国から商談のために市内を訪れる企業が多いことから市内企業と連携した市のPRは有効と考えており、商工会議所等と連携して今後実施を検討したい。

(マークの項目は、本文に内容を掲載しています)



さの だいすけ 佐野大輔 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 交流人口・活動人口について
2 地場産業の活性化について
3 燕市のPRについて





長井由喜雄 (日本共産党議員団)

子ども医療費助成 拡大に前向き

子ども医療費助成は「一部負担金の軽減」に県内自治体も動いており、燕市での実施を繰り返し求めた。公園の維持管理は意識を持たない機能を着しく低下させることになる。しっかりと手を加える整備を求めた。

問 子ども医療費助成は無償化を願う声があがっている。入院の場合、1200円の他に食事代も加わり、月に8万円にもなり負担は重い。無償化を実現してほしいかがか。

答 有効な子育て支援、少子化対策と認識している。第3次総合計画素案にも子育て世代の経済負担軽減を主要施策に挙げており、「子育てするなら燕市で」と評価されるよう現在検討している。

この項目について質問しました
1 市長の子育て施策に対する姿勢について
2 みなみ親水公園の維持管理について
3 燕市B&G海洋センターの施設状況について



問 みなみ親水公園を保育関係者同行で2度にわたって調査した。2010年4月開園後、道路境界の危険、子供用トイレが未設置であることや朽ちた木道、用水の柵が横柵で危険であるなど改修が必要だ。障がい者トイレ閉鎖はどう考えているのか。

答 指摘のとおり、車道への飛び出し防止柵の設置、横柵は転落も懸念され、隙間の狭い防護柵へ取り替えること、幼児用手洗い、トイレも今後の改修のタイミングで導入を検討していきたい。障がい者用トイレ閉鎖は配慮が足りなかった。



危険な「みなみ親水公園」の橋付近の横柵

新型コロナワクチン 接種に関して

市のリーフレットやホームページには、新型コロナワクチンが人類で初めて実用化された遺伝子ワクチンであることや長期的な安全性が未確認であること、2023年5月まで治験中であることといった重要な情報が記載されていない。メリット以外にも、接種する・しないを判断するためのこうした重要な情報が市民に周知されていないことは問題である。

問 重症化リスクがほぼゼロの子供や乳幼児にも新型コロナワクチン接種を勧めているが、長期的な安全性が確認できていない等のリスクに関する情報もリーフレット等に記載するべき。



各自がしっかりとリスクを把握した上で接種を

問 長期的な副反応に苦しむ方や、接種後に亡くなる方が全国で出てきており、リスクに関する情報が知られていけば接種していかつたという声も市民から届いている。メリットだけでなくリスクについてもしっかりと周知するべき。

答 リスクに関する情報も伝えるべきではないかという意見を頂戴したことを県に伝え、相談した中で検討する。



稲村隆行 (新風つばめ)

この項目について質問しました
1 新型コロナワクチン接種について



渡邊雄三 (公明党)

人口増戦略について

「子育てするなら燕市で」をアピールできるような子育て支援事業をしてほしい。例えば、「仮称」赤ちゃん誕生お祝い支援事業」として、幼児用紙おむつのクーポン券配布など検討してほしいか。

答 伴走型支援体制を構築した上で、頂いた意見も参考に、「子育てするなら燕市で」を広く内外にアピールできる、さらなる市独自の支援事業検討を重ねたい。

通学路の安全対策について

令和3年8月に起きた八街市の事故を受けて実施した、通学路の一斉安全点検の現状と対策は。

答 八街市の事故を受けて判明した27か所と、令和2年度合同点検で確認した51か所の合



子育てするなら燕市で

この項目について質問しました
1 燕市ゼロカーボンシティ宣言実現に向けて
2 通学路の安全対策について
3 人口増戦略について



計78か所は、これまで警察や道路管理者と連携しながら対策を講じている。

問 危険箇所の周知は保護者へ伝達できているのか。また、登下校時の安全対策をしっかりとっていたか。いかがか。

答 生活指導のお便り等で保護者に向けて周知、啓発している。また、学校やPTAと連携しながら、地域の方々と子供の安全を守るための体制作りについて検討する。

商店街歩道は高齢者のために整備が必要

国道の整備に伴い、歩道も整備されるが、その歩道を歩いている人はほとんど見かけない。歩行者が一番利用する歩道は、何といても商店街の歩道である。

問 歩行者の多くは、子供たちを除けば高齢者がほとんどである。つえをついておられる方や、押し車を利用されている方もいる。歩道が傷んで凸凹していたら危険である。商店街に人を呼び込みたいというのが市の考えであれば、商店街の歩道整備は必要である。

答 市内の商店街は、縁石等により車道から一段高くなっている歩道が多く、車両等の乗り入れや店舗の入り口の高さにより段差が生じ、平坦でない箇所が



穀町商店街の歩道

この項目について質問しました
1 さくら公園について
2 歩道の整備について
3 紙おむつ支給事業について
4 ふるさと納税について



多くある。また、議員指摘のとおり、老朽化により段差が生じている箇所もある。市では現在老朽化等による小修繕には対応しているが、段差解消を含めた歩道の改修事業には至っていない。歩行者の安全向上のため、商店街の歩道について現状を調査し、国の交付金事業の活用を含め、対応可能かどうか検討する。また、指摘された穀町の歩道についても、宮町、仲町はきれいになっているので、国の交付金を含め、どのような形でできるか調査を進めたい。